

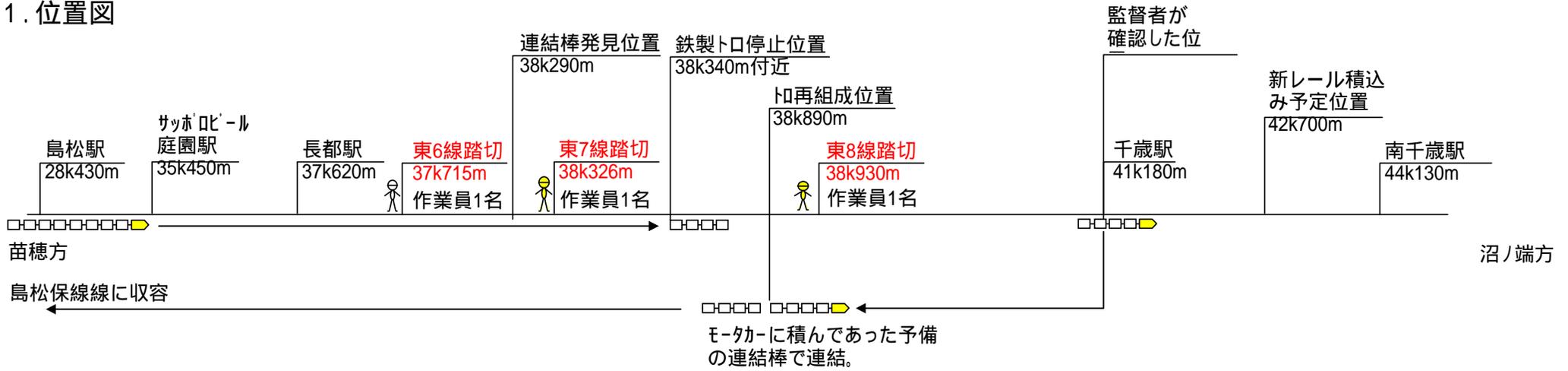
平成 21 年 6 月 26 日

千歳線 長都駅～千歳駅間における運転支障について

1. 発生日時 平成 21 年 6 月 26 日(金) 0 時 20 分頃
2. 発生場所 千歳線 長都駅～千歳駅間 下り線 38k290m 付近
3. 概況 工事監督者ほか 1 名は、モーターカーによるレール運搬の目的で千歳駅～南千歳駅間でレールを積込み、サッポロビール庭園駅～千歳駅間で取り卸すため、23 時 10 分に島松駅を出発しました。0 時 30 分に千歳駅に到着し、下り線サッポロビール庭園駅～千歳駅間のモーターカー使用の終了を通告しました。その後、工事監督者はモーターカーに連結していた材料運搬用台車（以下、台車）8 台の内 4 台がないことに気付き、0 時 39 分、輸送指令に列車の抑止と、台車を回収する手配を行いました。  
一方、東 7 線踏切の誘導を行っていた請負業者の作業員が、0 時 20 分頃、踏切通過時にモーターカーの台車の編成に異常を確認したため、軌道工事管理者は東 8 線踏切で作業員 2 名に列車防護手配を指示するとともに、0 時 42 分に輸送指令に列車の抑止手配を行いました。その後、モーターカーは台車を連結して、1 時 29 分にサッポロビール庭園駅構内に収容しました。
4. 原因 モーターカー移動中に、連結していた台車の 4 台目と 5 台目の連結棒が折損したため。
5. 付記 (1) 当日の作業は、島松駅からモーターカーと台車をレール積込場所(42k700m 付近)まで回送後レールを積込み、サッポロビール庭園駅～南千歳駅間の 5 箇所レールを取卸し、島松駅に戻る行程でした。  
(2) 踏切の誘導を行っていた作業員は東 6 線、東 7 線、東 8 線踏切に各 1 名を配置していました。  
(3) 取り残された台車は、後部が 38k340m 付近に停止した状態でした。  
(4) 折損していた連結棒は長さ約 2m であり、38k290m 付近で発見されました。  
(5) 当該箇所は、千歳方面へ向かって下り勾配(3/1000)です。  
(6) 当該線路(下り線)への次列車は、千歳駅発 0 時 46 分発車予定の回送列車です。
6. 輸送への影響  
(1) 影響列車 4 本(貨物列車 3 本、回送列車 1 本)  
(2) 影響人員 0 人

# 千歳線 長都～千歳間 保守用車の移動行程

## 1. 位置図



## 2. 写真

組成全体図



連結部折損拡大写真



今回折損した連結棒



連結写真



拡大写真

